

編集後記

『記録と史料』第19号をお届けします。

- ◆来年度から、全史料協の執行体制が新しくなります。本号では、新たな会務執行体制の概要に関する総務委員会報告を掲載いたしました。新体制発足後の様々な試行錯誤も予想されます。会員諸氏におかれましては、ぜひこの報告をお読みいただき、今後の運営に関してご一考いただきますようお願いいたします。
- ◆本号では、会員の方々が海外に飛び出し、様々な形で世界のアーキビストや研究者たちと交流し、そこで得られた体験を報告していただくことができました。〈記録を残す〉という行為は国が違えど変わりありません。共通な地平は何か、自分たちの独自性は何か、こういった問題についてあらためて考えてみることも必要ではないでしょうか。
- ◆資料目録に必要なデータは何か、それらのデータをどのような形で利用者に提示したらよいか。こういう問題について考えるきっかけとなる論攷をいただきました。普段あまり疑問もなくルールに従って採取している目録のデータの意味について、あらためてじっくり考えてみると何か違ったものが見えるかもしれません。
- ◆本号でも大学アーカイブズ、市町村立アー

カイブズ、自然科学系アーカイブズなど多くの新設館の情報をいただきました。ご寄稿いただきました方々に感謝いたします。

- ◆編集・出版委員会で発行する、最後の『記録と史料』になりました。といっても、編集・出版業務は今後も継続いたします。引き続き皆様のご協力をお願いいたします。
- ◆早いもので委員の任期も今年度で終了いたします。日本各地でそれぞれ仕事をしながら、メールで会務を行い、委員会で顔を合わせてお互いに情報交換と交流をする、そんな充実した2年間でした。コストの問題もありますが、今後もいろいろ工夫しながら委員会の業務を前向きに、楽しんで継続することができるよう祈念しています。

〈とねっこ〉

〔編集・出版委員会〕

中島 弘 (委員長)

高木 秀彰 (編集長)

相京 眞澄 伊藤 康

岡部 眞二 亀岡 哲也

五島 敏芳 白井 哲哉

森内 優子 吉田 千絵

記録と史料 第19号

平成21(2009)年3月24日発行

編集： 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 編集・出版委員会

〒680-0017 鳥取県鳥取市尚徳町101 鳥取県立公文書館内
電話0857-26-8160 FAX-0857-22-3977

発行： 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 (会長 村田 茂)

〒558-0054 大阪府大阪市住吉区帝塚山東2-1-44 大阪府公文書館内
電話06-6675-5551 FAX 06-6675-5552

印刷： 中央印刷株式会社

〒680-1121 鳥取県鳥取市南栄町34番地
電話0857-53-2221 FAX 0857-53-2201